

次期戦略的イノベーション創造プログラム（次期S I P）
課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」に係る
第6回検討タスクフォース 議事要旨

1. 日時：令和4年11月15日（火） 16時00分～18時00分
2. 場所：経済産業省 第2特別会議室（本館17階西6）及 Web 会議
（Teams）によるハイブリッド開催
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議題
 1. 前回議事録の確認
 2. FS 基礎的調査の結果について
 3. FS 個別テーマ調査状況について
 4. 「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画（案）」について
 5. サイトビジットの実施報告及び今後の予定について
 6. サークュラーエコノミー第2回ワークショップ実施結果について
 7. 今後のスケジュールについて
5. 配付資料
 - 資料1 第5回検討タスクフォース議事要旨
 - 資料2 FS 基礎的調査結果
 - 資料3 FS 個別テーマ調査状況

- 資料 4 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画（案）
- 資料 5 サイトビジットの実施報告及び今後の予定について
- 資料 6 サーキュラーエコノミー第 2 回ワークショップ実施結果について
- 資料 7 FS スケジュール
- 資料 8 出席者リスト
- 参考資料 1 9/8 サーキュラーエコノミー・ガバニングボード報告資料

6. 要旨

- (1) 研究推進法人からの第 5 回 TF 議事要旨の確認に続き、調査分析機関から、FS 基礎的調査の結果についての説明がなされた。ここでは、プラスチックの CE 構築に必要な技術・機能の整理や、海外企業の CE 事例について共有がなされた。
- (2) 調査分析機関から、FS 個別テーマの調査状況について、説明がなされた。ここでは、CE 構築といった社会課題解決に向けて、個別のテーマの関係性を整理し、その関係性を明確にすることが必要であるとの認識の共有がなされた。
- (3) 岡部 SPD 候補から、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画（案）について、説明がなされた。ここでは各サブ課題の予算感や、SIP で本課題に取り組む際の意義づけをすることの重要性についての共有がなされた。

(4) 研究推進法人から、サイトビジットの実施報告や今後の予定についての説明がなされた。また、調査分析機関から CE 第2回ワークショップ実施報告についての説明がなされた。

(5) 次回 TF の開催日程について、12月12日に開催することを確認した。詳細の日程・場所は追って決定されることとなった。

以上

【別紙】

次期戦略的イノベーション創造プログラム(次期SIP)

課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」第6回検討タスクフォース 出席者リスト

【座長(PD 候補)】

伊藤 耕三 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

【座長代理(サブ PD 候補)】

岡部 朋永 東北大学院工学研究科 教授

【戦略コーディネーター候補】

高岡 昌輝 京都大学院工学研究科 教授

【関係省庁】

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課

経済産業省 製造産業局 素材産業課 革新素材室

経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課

環境省 大臣官房総合政策課 環境研究技術室

環境省 環境再生・資源循環局総務課 リサイクル推進室

環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性主流化室

【研究推進法人】

独立行政法人環境再生保全機構 総務部

独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部

【調査分析機関】

野村総合研究所 サステナビリティ事業コンサルティング部 サーキュラーエコノミー戦略グループ

【オブザーバー】

南部 博美 花王株式会社 リサイクル科学研究センター センター長

兼 研究開発部門 研究戦略企画部 リサイクル科学担当部長

吉岡 敏明 東北大学院環境科学研究科 教授

【事務局】

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 統合戦略(エネルギー環境)担当